

2026.  
 3.13<sup>Fri</sup> - 8.31<sup>Mon</sup>  
 10:30 - 19:30

おかし  
 たか  
 ちゃん



高島屋史料館  
 TOKYO  
 入館無料

東京都中央区日本橋2-4-1  
 日本橋高島屋S.C.本館  
 4F展示室



デパートの屋上に  
 ゾウがいた!

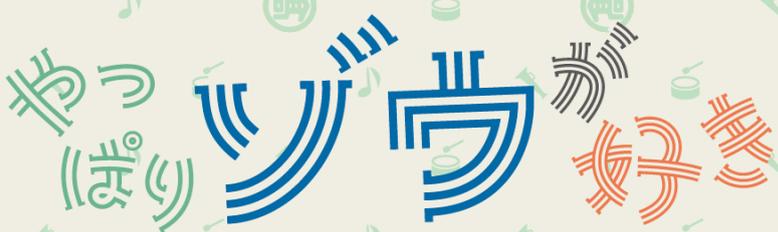


休館：毎月第2火曜（祝日の場合は開館して翌日休館）、8月19日（水・全館休業）

主催：高島屋史料館TOKYO 監修：木下直之（静岡県立美術館館長、東京大学名誉教授） グラフィックデザイン：原田祐高、山副佳祐（UMA/design farm）  
 展示デザイン：株式会社中山英之建築設計事務所 施工・設営：FIGURE 17-15 cas 担当学芸員：海老名熱美（高島屋史料館TOKYO）

1) (享保年間渡来象の牙)、所蔵：横山隆一記念まんが館 2) (たかちゃん下着等)、所蔵：国立科学博物館 3) (佐藤製菓(株)のオトちゃんムービー) 4) (たかちゃんのラップ)、所蔵：多摩動物公園  
 5) (曾寛君像)部分、所蔵：東京国立博物館 Image: TNM Image Archives 6) (屋上に吊り上げられるたかちゃん) 7) [講談社の絵本 山田長政]部分 8) [南蛮屏風]狩野内膳 部分、所蔵：神戸市立博物館  
 9) (天竺渡来大評判 象の戯遊)河原崎清 部分、所蔵：イスラエル・ゴルドマンコレクション、協力：立命館大学アート・リサーチセンター 10) (たかちゃん) 11) (英国人アームストロング大曲馬)部分、所蔵：国立劇場

高島屋史料館  
 TOKYO



2026. 3.13 Fri - 8.31 Mon



「ゾウのたかちゃん」1950～1952年頃

「ゾウのいるデパート」  
壁面装飾、1950年

戦後間もない1950～1954年、日本橋高島屋の屋上には「たかちゃん」という1頭のゾウが暮らしていました。上野動物園に引き取られるまでのわずか4年間——それは短い時間でしたが、敗戦から立ち上がりとする日本にとって、その存在は決して小さなものではありませんでした。賢くて優しく、芸達者だったたかちゃんは、多くの子どもたちに愛されました。

それにしても、なぜ、デパートの屋上にゾウなのか。本展では、たかちゃんを起点に、ゾウという動物が日本社会でいかなる意味を与えられてきたのかをたどります。

日本に、ゾウはどのように現れたのでしょうか。はじめは象牙でした。ついで、ゾウに乗る普賢菩薩像や涅槃図によってゾウの姿が知られるようになります。伊藤若冲や長沢芦雪が描いたゾウはめでたい吉祥図でした。河鍋暁斎は本物のゾウを目にしつつ、楽しい戯画へと転換しました。

江戸時代に将軍吉宗に献上されたゾウが一大ブームを巻き起こしたことで、山王祭に巨大なゾウのつくりものが登場しました。幕末からは、ゾウが見世物やサーカスの、そして動物園の人気者となりました。ところが戦時下で、「猛獣処分」により多くのゾウの命が奪われます。ゾウもまた、戦争とは無縁ではありませんでした。



「鍾馗騎象図」、画：河鍋暁斎、1870年代中頃、所蔵：イスラエル・ゴールドマン・コレクション  
写真：ケン・アドラード(複製を展示)



「山王祭礼図屏風」、江戸時代・18世紀、所蔵：東京国立博物館  
Image: TNM Image Archives (複製を展示)

# 屋上にゾウがいた！ デパートの

だからこそ、戦後まもなく日本橋高島屋の屋上へやってきたたかちゃんは「平和の使者」として迎えられたのです。まどみちおさんが歌詞を書いた「ぞうさん」は、当時のゾウ人気から生まれた童謡です。

本展では「ゾウに乗る」「ゾウを洗う」「ゾウを贈る」「ゾウを曳く」「ゾウを操る」「ゾウを食べる」「ゾウが招く」をキーワードに、ゾウと日本人の歴史をひも解きます。時代とともに、ゾウに託したものが変わってきたのです。

デパートの屋上でたかちゃんと撮った写真を一般公募したところ、130名を超える方々から貴重な写真をお寄せいただきました。これらの写真からは、ゾウのたかちゃんが戦後復興期に平和のシンボルであったこと、人々に希望を与える存在であったことがうかがい知ることができます。たかちゃんのお骨も初の里帰りを果たし、等身大のバルーンも登場します。現代版「ゾウのいるデパート」で、「平和の使者」たかちゃんに出会っていたらと幸いです。



映画「象を喰った連中」ポスター、松竹、1947年、所蔵：国立映画アーカイブ(複製を展示)



「普賢菩薩像」、平安時代・12世紀、所蔵：東京国立博物館  
Image: TNM Image Archives (複製を展示)



「講談社の絵本 山田長政」、1940年

## 唐人行列参加者募集!

\*本展開催にちなみ、6月の山王祭にあわせて、当館が神幸祭の行列に特別参加！唐人行列にご参加くださる方20名を募集しますので、詳細は募集要項をご確認ください。



## トークイベント開催のご案内

- ① 4月11日(土)「サーカスの唄が流れてくる」  
渡辺裕(音楽学者・東京大学名誉教授) × 木下直之(本展監修/静岡県立美術館館長、東京大学名誉教授)
- ② 6月27日(土)「古今東西南北のゾウを語り合う」  
荒俣宏(作家・博物学研究者) × 木下直之
- ③ 7月25日(土)「葉屋の子ども、店頭の手つちちゃんを語り尽くす」  
都築響一(写真家・編集者) × 木下直之

イベントお申し込み詳細はWEBサイトやSNSでご確認ください。

\*イベント内容が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
\*募集開始になりましたら「開催予定のイベント」ページに詳細が掲載されます。



※要事前申込



高島屋史料館 TOKYO (東京都中央区日本橋2-4-1)  
日本橋高島屋S.C. 本館4・5階  
\*5階旧貴賓室は、対面でのイベント開催時のみ開館します。  
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>

- ・JR「東京駅」八重洲北口から徒歩5分
- ・東京メトロ 銀座線・東西線「日本橋駅」直結
- ・都営地下鉄 浅草線「日本橋駅」から徒歩4分
- \*駐車場は大変混雑しております。お車の出庫には非常に時間がかかるため、ご来館の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

高島屋史料館  
TOKYO